

## デジタルマルチメータ R6552/T/T-R

使用できる機種 R6552, R6552T, R6552T-R

R6552, R6552T, R6552T-Rは、ADC社の商標です。

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-R6552-R	ラックシステム	<b>80,000円</b>	Windows7/8.1/10/11 (64bit版推奨) Excel2010/2013 Excel2016/2019/2021 (32bit版 Only)
W32-R6552-N	NI社		

### 機能



#### ・データロガーとしての活用

指定された時間間隔で指定された個数のデータをリアルタイムにExcelシートに 取込みます。最大200,000回までのデータが連続して取り込めます。

#### ・製品検査への活用

被測定物を取り換えながら、個々のデータをExcelシートに取込みます。

#### ・LONG-IT機能のサポート

10msから60sまでの任意の積分時間が設定できます。

#### ・パースト測定波形の取込

パースト測定されたR6552の内部メモリデータをExcelシートに取込み、同時に作図も行ないます。

データ取込時間は、1000個のデータの場合、おおよそ下記のとおりです。

測定(4.6sec) + パソコン受信(12sec) + Excel入力(8.6sec) + 作図(6.4sec)

### 概要

スタートすると、ファンクション・測定レンジ・サンプリング速度を設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら目付時刻も付加することもできます。

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。ファンクション、測定レンジ、時間間隔、取込回数等を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取り込みを開始します。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。  
※本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフウィザードを使用して作図してください。なお、パースト測定では、10,000個までのデータ取込を行なうとともに、その波形を自動的に作図することができます。



測定中は、データ表示を邪魔しないように、ウィンドウは下図のように縮小表示となります。

### 操作説明

測定器からデータの取込を開始します。「PAUSE」を先に押してから「START」を押すとスポット測定モードになります。

測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。

測定ファンクションを設定します。

測定レンジをAUTO/MANUALで切換えます。AUTOのチェックを外すとレンジ入力用テキストボックスが現れますからレンジをキーボードから入力します。厳密な値を入力する必要はありません。入力された値に一番近い1つ上のレンジに設定されます。

測定値に演算処理を行います。(次頁参照)

測定値をExcelへ入力する時の単位を設定します。「実値」は、測定ファンクションにより「V」「A」または「Ω」の単位での入力を意味します。

測定器の型式を設定します。

測定器本体で設定したGP-IBアドレスと同じ値を設定します。

データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると取込を再開します。

データの取込を停止します。

「スポット測定」中、有効となり、クリックする毎に、1つ前の測定値を削除します。再測定の際に使用します。

「PAUSE」中、有効となり、クリックする毎にデータを取り込みます。スポットモードでは、データのサンプリングに使用します。

トリガモードを設定します。

「FREE RUN」は、測定中もFREE RUN状態を保持します。「HOLD」は、測定時間毎にパソコンがR6552にトリガを送信します。R6552はHOLD状態になります。「外部トリガ」はR6552のリアーの「TRIGGER」からのトリガによるサンプリングを行ないます。「BURST」は、R6552のパースト測定を行ないます。まず、測定器の測定条件を自動的に設定し、パースト測定が完了するのを待ち、パースト測定終了とともに測定結果をExcelシートに取込みます。必要なら測定データの自動作図を行ないます。「BURST」が選択されると条件入力画面が表示されます。(次頁参照)再度、パースト測定条件を入力するためには、一旦、別条件を選択した後、再度「BURST」を選択します。

サンプリング速度を設定します。「LONG-IT」を選択すると、100から60,000msの間の任意の積分時間を入力できます。

#### スポット測定モードの使用法

「PAUSE」ボタンを先にクリックして、その後「START」ボタンをクリックすると「スポット測定モード」になります。マルチメータの設定が行われた後、「SPOT」ボタンのクリック待ちとなります。「SPOT」ボタンをクリックする毎にデータがExcelシートに取込まれます。この時「SPOT」ボタンをクリックする代わりに「スペース」キーを押しても同様の結果となります。この「スポット測定モード」では、「経過時間」の欄には1,2,3...と「連続番号」が入力されます。

例えば、被測定物を取り換えながら、個々の被測定物の測定を行う場合に便利です。「スポット測定モード」を終了するためには、「STOP」ボタンをクリックします。